



## パソコンによるタラノメ収穫予想法

タラノメの収穫情報作成のために、収穫予測ソフトを Microsoft Excel 7.0 のマクロを使用して試作し、ソフトを活用した収穫予測法について検討した。

表1 アメダス平均気温、農業試験場日射量とハウス内平均気温実測値の重回帰式ならびに重相関係数

解析期間	重回帰式	重相関係数
H9. 12. 9 ~ H10. 4. 21	$Y = 6.0095 + 0.6167 X_1 + 0.2002 X_2$	0.9407

(注)  $X_1$ : アメダス平均気温(穴吹町)  $X_2$ : 農業試験場日射量(石井町)  
 Y: ふかしハウス内平均気温

- 平均気温、日射量とふかしハウス内平均気温について重回帰分析を行うと、高い相関がある。

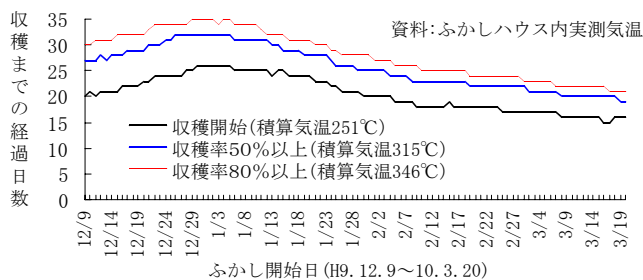


図1 積算気温による収穫シミュレーションモデル

- 農家のふかしハウス内気温の実測データをふかし開始から収穫までの積算気温に当てはめると、ふかし開始時期で収穫までの経過日数が変化する収穫シミュレーションモデルが得られる。

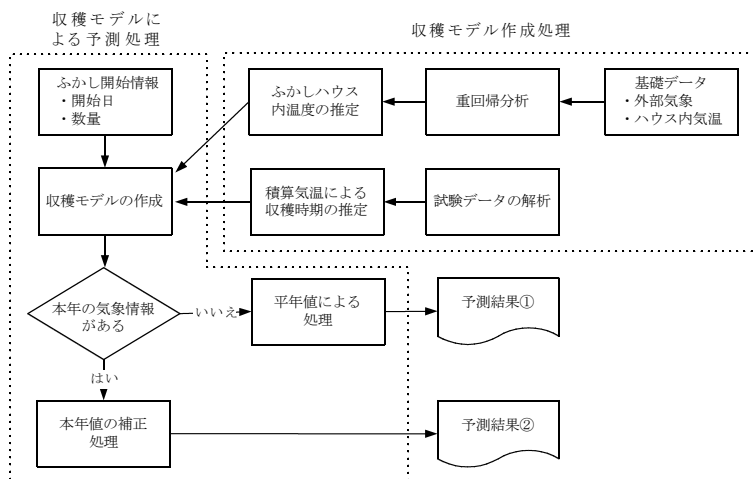


図2 収穫予測処理のフローチャート

- ふかし開始情報を収穫モデルに当てはめることで収穫予測を行う。外部気象は平年値を使用するが、今年的气象データがある場合は、入力することにより本年値で補正された予測結果を得ることができる。

### 問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター 農業研究所 企画経営担当

TEL (088) 674-1660

FAX (088) 674-3114

<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>